

「三位一体工法」なら 地震発生後、 見えない壁の中を可視化! だから、「いつまでも安心」。

プレウォール工法

大壁面材工法

筋かい工法



工法別倒壊シミュレーション

■ 壊れていない耐力壁 ■ 耐力が30%低下 ■ 耐力が60%低下 ■ 破損し耐力がゼロ

地盤の揺れやすさ、屋根にかかる荷重、建築工法等、一邸一邸異なる建築条件を反映させた倒壊シミュレーションができます。

「三位一体工法」とは

地盤の揺れやすさ等の建築条件を考慮
したシミュレーションを行い、
大地震から人命と財産を守る
建物を設計します。



SUVEY SIMULATION COUNTERPLAN

「三位一体工法」は、もし震度6以上の地震が発生し、家が揺れた場合、建築時のシミュレーションデータを基に地震波を入力。家に損傷がないかを**無料**で検証します。

wallstat
ウォールスタット



震度6以上の 地震発生!



地震発生時に建物が揺れた場合、壁の中でどれだけの損傷が出ているのかわかりません。この後の余震に耐えられるか不安になるものです。

地震発生時の 建物の揺れを再現!



ウォールスタットにて建築時のシミュレーションデータを基に、防災科学技術研究所が観測した地震データを利用し建物の揺れを再現します。

壁内部の 損傷を可視化!



壁内部の損傷を可視化できるので、損傷している部分をピンポイントで補修することができ、新築時の耐震性能へ修復し次の地震に備えることができます。

地震発生時に2週間を目安にレポートを提出させていただきます。(地震データが取得できてから約1週間)